

図書館だより 12月号

〒519-0505 伊勢市小俣町本町2番地 (電話) 0596-29-3900 (FAX) 0596-29-3902

小俣図書館 図書館行事 ご案内

おはなし会 1階・おはなしのへや



12月11日(土) たんぽぽおはなし会、午後3時~
12月19日(日) ピッポの会・紙芝居、午前11時~

★「赤ちゃんおはなし会」 1階・おはなしのへや

12月9日(木) 午前11時~



◆映画上映会 2階・視聴覚室

12月18日(土) 「ブタがいた教室」



12月26日(日) 「星の王子さま」アニメーション《30分》

★図書館おはなし会&工作教室

〈1階・おはなしのへや〉



(日時) 12月25日(土) 午後3時~
(対象) 3歳~小学生(就学前の子どもは保護者同伴)
(内容) 昔話を読んだ後、カレンダーを作ります。

※いずれも時間は、午後2時からです。

開館時間 月・水・木・金・土・日 午前9時~午後7時
休館日 毎週火曜日
第2金曜日、年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊2週間以内
(10冊のうち雑誌は5冊まで)
1団体50冊1ヶ月以内
(50冊のうち雑誌は25冊まで)

小俣図書館カレンダー



Calendar for December 2009 and January 2010. December 2009: 1st-31st. January 2010: 1st-31st.

©12/28~1/4まで年末年始のため休館です。

クリスマスおはなし会

日時: 12月23日(木) 午後2時~
場所: 2階・会議室
対象: 小学生以下(先着50人)
申込み: 12月4日(土)~ 小俣図書館カウンター
内容: クリスマスえほんの読み聞かせをします。サンタクロースもやってきます。



小俣図書館なぞなぞカルタの絵募集!!

期間: 12月1日(水)~27日(月)
定員: 50人(先着順)
どなたでも自由に書いていただけます。
申込み: 小俣図書館カウンター
※カルタ用紙を配布します。
内容: 平成23年1月10日(月)のカルタ大会で使う、なぞなぞカルタの絵を募集します。

※集まったカルタは、12月15日(水)から、館内で展示します。



©12/28~1/4まで年末年始のため休館です。

図書館だより 12月号

(編集・発行) 伊勢市立伊勢図書館
指定管理者 株式会社 図書館流通センター
(住所) 〒516-0076 伊勢市八日市場町13番35号
(電話) 0596-21-0077
(FAX) 0596-21-0078
(ホームページ) http://iselib.city.ise.mie.jp/

「おはなし会」

(日時) 毎週土曜日 午後2時30分~
(場所) 1階・おはなしコーナー

12月4日/おにいさん、おねえさん による おはなし会
12月11日・18日・25日/おはなしプーさん による おはなし会

絵本の読み聞かせや、紙芝居などをやっています☆



「あかちゃんえほんのじかん」

(日時) 12月23日(木) 午前11時~
(場所) 2階・視聴覚室

(内容) あかちゃんむけの絵本の紹介や、手遊びなどをします。



☆☆ おはなし会、あかちゃん絵本の時間、映画上映会は、参加自由です。どうぞお気軽にご参加ください。☆☆

「映画上映会」

(日時) 12月12日(日) 午後1時30分~
(場所) 2階・視聴覚室

『ノエル 星降る夜の奇跡』
(日本語吹替) 《上映時間 96分》
(第18回東京国際映画祭 特別招待作品 公式参加作品)

「冬休み子ども映画会」

(日時) 12月26日(日) 午後1時30分~
(場所) 2階・視聴覚室

『14ひきのさむいふゆ』
『からすのパンやさん』

「サザンちゃんのおともだち」
(アニメーション) 《上映時間 51分》

開館時間 月・火・木・金・土・日 午前9時~午後7時
休館日 毎週水曜日
第2金曜日、年末年始、特別整理期間

貸出 1人10冊 2週間以内
(10冊のうち雑誌は5冊まで)
1団体50冊 1ヶ月以内
(50冊のうち雑誌は25冊まで)

伊勢図書館カレンダー

Calendar for December 2009 and January 2010. December 2009: 1st-31st. January 2010: 1st-31st.

©12/29~1/5まで年末年始のため休館です。

「おはなしプーさん 要申込」

クリスマスおはなし会
(日時) 12月19日(日) 午後2時30分~
(場所) 2階・視聴覚室
(対象) 小学生 (定員) 50名 先着順
(申込) 12月4日(土)から、直接カウンター、電話、FAXにて伊勢図書館まで。

* クリスマスにちなんだ絵本の読み聞かせや、紙芝居、工作などをするよ!

「伊勢図書館 休館のお知らせ」

12月29日(水)から1月5日(水)まで
年末年始のため、休館いたします。

どうぞよいお年を...



本のごあんない



〔一般書〕

「2010年を振り返って…、 年末年始に読みたい本」

2010年もあと12月を残すのみ。年賀状をかいたり、年末年始の準備をしたり、なにかと忙しい月ですね。今月は、おいしく作りたい！おせちの本や、年末くらいはしっかりと、そうじの本、この1年どんな風に過ごしてきたっけ…、12か月の和の行事の本などを紹介します。



- ◎ 藤井さんちの美味しいおせちとお正月のごちそう (藤井恵/著 主婦と生活社)
- ◎ 季節を楽しむかわいい和菓子 (山崎彩/著 学研パブリッシング)
- ◎ イチバン親切な掃除と洗濯の教科書 (新星出版社編集部/編 新星出版社)
- ◎ 遊字・絵手紙年賀状 (三輪久美子/著 木耳社)
- ◎ おうちで楽しむにほんの行事 (広田千悦子/著 技術評論社)

〔児童書〕

せかい 世界のクリスマス

12月25日は1年に1日。世界中でクリスマスが行われます。

世界のさまざまなクリスマスのお話を楽しみましょう。

- ★ **ヘラジカがふってきた!** (ドイツ) (アンドレアス・シュタインハーフ/著 ケルスティン・マイヤー/絵 鈴木仁子/訳 早川書房)
- ★ **ポインセチアはまほうの花** (メキシコのクリスマスのお話) (メキシコ) (ジョアンヌ・オープンハイム/文 ファビアン・ネグリン/絵 宇野和美/訳 光村教育図書)
- ★ **クリスマスのまえのぼん** (クレメント・C・ムーア/文 ウィリアム・W・テンスロウ/絵 わたなべしげお/訳 福音館書店)
- ★ **トムテ** (ヴィクトール＝リードベリ/作 ハラルド＝ウィーベリ/絵 やまのうちきょうこ/訳 偕成社)
- ★ **クリスマス物語集** (中村妙子/編訳 偕成社)

〔ヤングアダルト〕 2010年にありがとう ～おすすめの絵本～

2010年もあと少し。いそがしいこの時期に、心をゆったりとさせてくれるような、おすすめの絵本を紹介します。年越しそばといっしょに楽しめそうな絵本、ロバの両親の愛情あふれる物語など。

〔児童書より〕

- ☆ **フリックス** (トミ・ウンゲラー/作 今江祥智/訳 BL出版)
- ☆ **ロバのシルバスターとまほうのこいし** (ウィリアム・スタイグ/〔作〕 せたていじ/訳 評論社)
- ☆ **ときそば** (川端誠/〔作〕 クレヨンハウス)
- ☆ **おおきな木** (シェル・シルヴァスタイン/作 村上春樹/訳 あすなろ書房)
- ☆ **くまのコールテンくん** (ドン＝フリーマン/作 まつおかきょうこ/訳 偕成社)

〔ヤングアダルト〕とは…
ヤングアダルトとは、中・高生の読者に対して使われている言葉です。こちらでは、十代の若い世代におすすめの本を紹介しています。

★伊勢・小俣図書館のどちらかに所蔵がある本です。ご利用館にない場合は、予約ができます。

伊勢は文学が盛んな土地。

当館のふるさと文庫にも、郷土出身の作家の作品が、所狭しと並んでいる。そんな中でも、俳句といえば、「俳聖」と呼ばれた松尾芭蕉…いや、伊勢には「俳祖」と呼ばれた荒木田守武がいる。

ふるさとの風
～師走～

「俳祖」
守武

井原西鶴は、「西鶴名残の友」の冒頭で次のように述べている。

「神風や伊勢の國の山田に、風月長者荒木田氏の守武、はじめて俳諧の本式を立、是より世々の作者、天の岩戸のあかりをはしり、此道の廣き所をわきまへける。それまでは百韻つゞけるといふ事もなく、発句・脇・第三過ては、すゑずゑさし合の吟味もせず、前句覚てうち越をわすれ、是云捨に同じ。其節、守武、千句を出す事、ならびなき作者、守武・宗鑑を俳諧の父母ともいへり。是も和哥の一ていなければ、神國のもてあそびによろし。さるによつて山田は、すゑずゑ作者の絶ぬ所なり。」

(伊勢の國の山田の長者で風流人の荒木田守武は、はじめて俳諧の本式を立てた人で、それより世々の作者は、天の岩戸が開いた時のように隠れた所が明らかになったので、俳諧の道の広さをわかまえるようになった。それまでは百韻を続けるということもなく、発句・脇・第三を済ますと、あとは付け方の吟味もせず、前句との関係は心得ていても、前々句との関係を忘れるという始末で、これでは即興的な詠み捨てと変わりがなかった。そういう時代に、守武が正式に千句を発表したのは、まったく並ぶもののない作者であった。それゆえ守武と宗鑑を俳諧の父母というのである。俳諧も和歌の一体であるから、神國のもてあそびとしてふさわしいものである。そんなわけで、山田は後世に至るまで、俳人の絶えないところとなっている。)

(明治書院「決定版 対訳西鶴全集16 西鶴俗つれづれ・西鶴名残の友」より)

守武は応仁の乱の最中に宇治で生まれ、激動の時代を神宮の禰宜として奉仕した。

そういった時代に、誰もが作れそうな最も短い詩型を世の中にもたらすことは、意味のあることだと守武は考えたのだろう。

守武が五十三歳のときに生まれたのが「世中百首」。これは「伊勢論語」とも呼ばれ人々に親しまれた。

一、世中の親に孝ある人はただ何につけてもたのもしきかな

百、天照す神の教へをそむかざば人は世中富貴繁昌

守武はこの「世中百首」をたった一晩で考えたという。

戦国の世、混乱が続く世の中でも、神宮に仕える禰宜として、平生の心をもって句を詠み、そしてそれが人々に受け入れられていたのである。

メディアでは暗いニュースがあふれ、世知辛い世の中になっている今日、「世中百首」はずしんと胸に響く。

そして年が明け、やってくる新年…。

新しい年の始まりのすがすがしい雰囲気から、遠い神代の時代に思いを馳せた次の句は、守武があくまでも謹厳実直な神官であったことをあらわしている。

元日や神代のことも思はるる

- ◆ 荒木田守武 (俳祖守武翁顕彰会/編 俳祖荒木田守武没後四五〇年記念事業実行委員会 L913/ア)
- ◆ 宇治山田市史 下巻 (宇治山田市役所/編 国書刊行会 L243/ウ)
- ◆ 荒木田守武集 増補改訂 (神宮司廳 L913/ア)
- ◆ 伊勢神宮神官連歌の研究 (奥野純一/著 日本学術振興会 L912/オ)
- ◆ 伊勢の文学 (伊藤正雄/著 神宮文庫 L902/イ)